

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 2年 8月25日
19時19分16秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係
事務事業 02557 スポーツセンター施設管理事業

所属長名 名倉 建志
担当者 岩井 政喜
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	002	2スポーツ		
施策の方針	003	スポーツ施設環境の整備		
事務事業	004	スポーツセンター施設管理事業		
事業期間	平成13年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	しごとづくり	マニフェスト	○	地方創生
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して施設の利用をすることができるようにします。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、施設の適切な管理運営を行います。
事務内容	施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	228,998	297,547	871,960
事業費	217,658	286,207	860,620
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	93,384	260,000
その他	55,182	75,891	201,978
一般財源	162,476	116,932	398,642
人件費計	11,340	11,340	11,340
正規（人）	1.80	1.80	1.80
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	スポーツセンターの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修のため、平成31年度に実施する改修工事のための設計を行う	スポーツセンターの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修工事を行う	スポーツセンターの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修工事を行う

事務事業評価シート (2/2)

2頁
令和 2年 8月25日
19時19分16秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756010 スポーツ施設管理係
事務事業 02557 スポーツセンター施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
施設利用者数	人	205,000.00 205,060.00	69,000.00 70,013.00	137,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	スポーツセンターと同様の施設は他にありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	多くの方に利用していただいております。市民ニーズが多い施設です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	改修工事開始までに多くの方に利用いただきました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	窓口管理等を委託することで効率的な管理を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	サービス水準は他自治体と比較して問題ありません。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和元年度は改修工事のため7月末までの開館でしたが、たくさんの方にご利用いただくことができました。スポーツ施設は、「健幸（ケンサチ）」のまちづくりに無くてはならない施設です。今後も、市民の皆さまが安心、安全に利用できるよう、施設管理を行ってまいります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 2年 8月25日
19時19分16秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係
事務事業 02559 レジャープール施設管理事業

所属長名 名倉 建志
担当者 岩井 政喜
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	002	2スポーツ		
施策の方針	003	スポーツ施設環境の整備		
事務事業	003	レジャープール施設管理事業		
事業期間	平成11年度～			
実施方法	全部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	しごとづくり	マニフェスト	○	地方創生
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して施設の利用をすることができるようにします。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、適切な施設の管理運営を行います。
事務内容	適正な施設の運営管理のための指定管理者へのモニタリング、施設設備の修繕等

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	73,722	707,353	90,652
事業費	68,682	702,313	85,612
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	136,263	0
その他	494	149,895	0
一般財源	68,188	416,155	85,612
人件費計	5,040	5,040	5,040
正規（人）	0.80	0.80	0.80
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	レジャープールの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等） 非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修工事を実施	レジャープールの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等） 非構造部材の耐震化とともに、老朽化部位の改修工事を実施	レジャープールの管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）

事務事業評価シート (2/2)

4 頁
令和 2 年 8 月 25 日
19 時 19 分 16 秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係
事務事業 02559 レジャープール施設管理事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
施設利用者数	人	141,000.00 161,855.00	180,000.00 173,282.00	205,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市内にはレジャープールと同様の施設はありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市内にはレジャープールと同様の施設はありません。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	多くの利用者があり、市民ニーズは十分にあります。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	感染症対策のため臨時休館がありましたが、ほぼ目標どおりです		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	サービス水準については他自治体と比較して問題ありません。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和元年7月20日にリニューアルオープンし、たくさんの方にご利用いただくことができました。 令和2年3月より新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休館となりましたが、スポーツ施設は「健幸（ケンサチ）」のまちづくりには無くてはならない施設です。 今後も、感染症対策を実施し、市民の皆さまが安心、安全に利用できるよう、施設管理を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和2年8月25日
19時19分16秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756010 スポーツ施設管理係
事務事業 02561 屋外体育施設管理事業

所属長名 名倉 建志
担当者 岩井 政喜
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	001 健康				
項目（施策）	002 2スポーツ				
施策の方針	003 スポーツ施設環境の整備				
事務事業	002 屋外体育施設管理事業				
事業期間	昭和41年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	しごとづくり	マニフェスト	○	地方創生	健幸
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例				
備考					

【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して施設の利用をすることができるようにします。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、施設の適切な管理運営を行います。
事務内容	施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕・改修等

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	199,585	225,360	607,013
事業費	183,205	208,980	590,633
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	28,154	23,962	390,447
一般財源	155,051	185,018	200,186
人件費計	16,380	16,380	16,380
正規（人）	2.60	2.60	2.60
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	屋外体育施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等） 陸上競技場夜間照明設備の改修、野球場防球ネットの改修	屋外体育施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等） ソフトボール場日球場の防球ネットの改修設計及び改修工事、陸上競技場改修設計	屋外体育施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等） 陸上競技場改修工事、総合運動公園照明設備改修設計

事務事業評価シート (2/2)

6頁
令和2年8月25日
19時19分16秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756010 スポーツ施設管理係
事務事業 02561 屋外体育施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
施設利用者数	人	289,200.00 275,158.00	289,200.00 284,224.00	289,200.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	一部施設は民間等で実施していますが、全体としては不十分です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	利用者も多く、市民のニーズが高い施設です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	改修工事がありましたが、利用者は目標どおりの進捗でした。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	管理を委託するなどし、事務改善を行っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	サービス水準は他自治体と比較して問題ありません。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	デンソーブライトペガサスタジアム（ソフトボール場）B球場の防球ネットの改修工事が終了し、場外へのボールの飛び出しがなくなり、近隣の民家へ迷惑をかけることがなくなりました。 秋葉公園テニスコートがオープンするなど、他の屋外施設も多くの方にご利用いただいております。 スポーツ施設は「健幸（ケンサチ）」のまちづくりに無くてはならない施設です。 今後も、市民の皆さまが安心、安全に利用できるよう、施設管理を行ってまいります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
令和 2年 8月25日
19時19分16秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756010 スポーツ課施設管理係
事務事業 02562 体育館施設管理事業

所属長名 名倉 建志
担当者 岩井 政喜
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	002	2スポーツ		
施策の方針	003	スポーツ施設環境の整備		
事務事業	001	体育館施設管理事業		
事業期間	昭和54年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	しごとづくり	マニフェスト	○	地方創生
根拠法令等	スポーツ基本法、安城市体育施設の設置及び管理に関する条例			
備考				

【事業分析】

対象	市民（利用者）が
目的	気軽に安心して施設の利用をすることができるようにします。
手段	市民が気軽にスポーツを楽しむことができる施設として、施設の適切な管理運営を行います。
事務内容	施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	76,235	74,177	79,767
事業費	64,895	62,837	68,427
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	16,387	19,338	23,271
一般財源	48,508	43,499	45,156
人件費計	11,340	11,340	11,340
正規（人）	1.80	1.80	1.80
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	体育館施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）	体育館施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）	体育館施設の管理、運営（施設の利用受付、施設の適正管理、施設設備の修繕等）

事務事業評価シート（2/2）

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756010 スポーツ施設管理係
事務事業 02562 体育館施設管理事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
施設利用者数	人	214,500.00 213,920.00	214,500.00 207,457.00	214,500.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市内には安城市体育館以外に体育施設はありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	年間20万人の利用があり、市民ニーズが高い施設です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	新型コロナウイルス感染症対策による大会中止が多かったため。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	窓口業務を委託に出すなどし、効率的な事務を実施しています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	サービス水準は他自治体と比較して問題ありません。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	令和元年度は新型コロナウイルス感染症対策のため2月末から3月にかけて大会が中止され、施設利用者数は目標を下回りました。 東祥アリーナ安城（安城市体育館）は市民のスポーツ拠点となる施設であり、「健幸（ケンサチ）のまちづくり」にはなくてはならない施設です。 今後も、感染症対策などを実施し、市民の皆さまが安心、安全に利用できるよう、施設管理を行っていきます。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート (1/2)

1頁
令和 2年 8月25日
19時20分22秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02563 地域スポーツ振興事業

所属長名 名倉 建志
担当者 中川 愛菜
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目(施策)	002	2スポーツ		
施策の方針	002	「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興		
事務事業	006	地域スポーツ振興事業		
事業期間	昭和41年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生 健幸
根拠法令等	スポーツ推進委員に関する規則、小中・県立学校施設開放実施要綱			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・地域スポーツ振興事業 ・歩け・ランニング運動事業 ・総合型地域スポーツクラブ育成事業 ・市民地域スポーツ交流会開催事業 ・学校施設スポーツ開放事業			

【事業分析】

対象	普段あまりスポーツをしない市民が
目的	スポーツをするきっかけとなります。
手段	普段あまりスポーツをしない人にスポーツを体験してもらったり、スポーツする人にも経験のない種目を体験してもらうなど、からだを動かす楽しさを感じてもらいスポーツ実施者の増加を図ります。
事務内容	スポーツ推進委員について、スポーツ推進委員の機関紙「マイスポーツ安城」だけでなく、生涯学習広報誌「あんでな」に紹介記事を掲載するなどさまざまな手段を使いPRを行いました。

【コスト】

(単位：千円)

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	20,480	19,330	25,054
事業費	15,440	14,290	20,014
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	3,153	3,920	5,000
一般財源	12,287	10,370	15,014
人件費計	5,040	5,040	5,040
正規(人)	0.80	0.80	0.80
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	地域スポーツ振興事業 市民地域スポーツ交流会事業 学校施設開放事業 歩け・ランニング運動 ラジオ体操関係	地域スポーツ振興事業 市民地域スポーツ交流会事業 学校施設開放事業 歩け・ランニング運動 ラジオ体操関係	地域スポーツ振興事業 市民地域スポーツ交流会事業 学校施設開放事業 歩け・ランニング運動 ラジオ体操関係

事務事業評価シート (2/2)

2頁
令和 2年 8月25日
19時20分22秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02563 地域スポーツ振興事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
地域スポーツ振興事業参加者	人	9,000.00 7,471.00	8,000.00 7,050.00	7,000.00 0.00
市民地域スポーツ交流会参加者	人	4,000.00 3,164.00	4,000.00 2,782.00	3,000.00 0.00
学校施設スポーツ開放利用者	千人	270.00 260.00	270.00 226.00	220.00 0.00
歩け・ランニング運動参加者	人	7,000.00 7,808.00	7,500.00 7,631.00	3,000.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が主催する事業です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	大きく減少する事業はありません。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	ほぼ計画通りに実施できました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	参加者の動向を見ながら事業を実施しました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市との情報交換をしています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	学校施設開放事業は、各小学校利用団体への調整会議を行い、スポーツ課内での事務が始まりました。しかしながら、コロナの影響を受け、利用中止となりました。今後事務を円滑に進めるためにも、学校・児童クラブ・子ども会・町内会など関係団体との情報の共有などが重要になります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和2年8月25日
19時20分22秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02564 スポーツ振興計画推進事業

所属長名 名倉 建志
担当者 小木曾 賢
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	002	2スポーツ		
施策の方針	002	「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興		
事務事業	005	スポーツ振興計画推進事業		
事業期間	昭和53年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	義務的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	スポーツ基本法第30条、第31条			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業から名称変更しています。 ・スポーツ推進審議会運営事務			

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	教育委員会からの諮問に応じて、スポーツの推進に関する事項について調査審議し、その事項を建議する目的でスポーツ推進審議会を設置しています。 平成23年度にスポーツ基本法の改正があったことから、会の名称を「スポーツ推進審議会」としました。 第2次スポーツ振興計画策定委員会にて、具体的な計画の内容についての検討を行うことができました。

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	1,371	1,362	3,583
事業費	111	102	2,323
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	111	102	2,323
人件費計	1,260	1,260	1,260
正規（人）	0.20	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	スポーツ推進審議会開催（2回）	スポーツ推進審議会開催（2回）	スポーツ推進審議会開催（2回） eモニター実施

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02564 スポーツ振興計画推進事業
【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市のスポーツの目標や政策を示しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市民ニーズの調査をします。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	さまざまな事業の進捗管理をしています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	審議会では、事業内容の報告や計画を審議できました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市との情報交換をしています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	中間見直しの時期については、オリンピック終了後にアンケートを実施することを予定しています。新型コロナウイルスの感染拡大で、様々な事業が中止や延期になる中ですが、ルールをつくり各種施策が実施できるように検討してまいります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

5頁
令和2年8月25日
19時20分22秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02565 野外センター開放事業

所属長名 名倉 建志
担当者 三浦 一彦
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	004	きずな		
項目（施策）	004	14生涯学習		
施策の方針	001	14生涯学習その他		
事務事業	003	野外センター開放事業		
事業期間	昭和47年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市野外センターの設置及び管理に関する条例、管理に関する規則			
備考				

【事業分析】

対象	近代生活に慣れた市民が
目的	自然の尊さに気づくようになります。
手段	安城市の野外センターは、作手野外センターと茶臼山野外センターの2箇所あります。 6月から9月まで小中学校が利用しない日を一般に開放し、多くの市民の方に利用してもらっています。 1泊2日でファミリーキャンプを計画しています。
事務内容	利用申込みの際、利用手順や利用マナー等の指導をし、利用者同士が快適に過ごせる指導をしました。

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	734	734	761
事業費	104	104	131
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	104	104	131
人件費計	630	630	630
正規（人）	0.10	0.10	0.10
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	野外センター一般開放 ファミリーキャンプ実施	野外センター一般開放 ファミリーキャンプ実施	野外センター一般開放 ファミリーキャンプ実施

事務事業評価シート（2/2）

6頁
令和2年8月25日
19時20分22秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02565 野外センター開放事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
野外センター利用者	人	800.00	800.00	0.00
		1,025.00	1,770.00	0.00
ファミリーキャンプ参加者	人	50.00	50.00	0.00
		53.00	41.00	0.00

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が主催する事業です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	普段の生活とは違う環境が体験できるので利用があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	当日の天候でキャンセルがあります。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務改善に取り組んでいます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市との情報交換をしています。		

【1次評価結果】	
事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	一般の利用者が増えました。ファミリーキャンプは大自然の中で少し普段と違う時間が経験できるところが魅力です。

【2次評価結果】	
事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

7頁
令和 2年 8月25日
19時20分22秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02566 スポーツ活動表彰・激励事業

所属長名 名倉 建志
担当者 市川 洋子
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001 健康			
項目（施策）	002 2スポーツ			
施策の方針	002 「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興			
事務事業	004 スポーツ活動表彰・激励事業			
事業期間	平成14年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市体育表彰選考要綱、安城市全国大会等激励金交付要綱			
備考				

【事業分析】

対象	各競技種目で活躍している市民の方が
目的	国際大会、全国大会等に出場する際に励みとなります。
手段	国際大会、全国大会等に代表選手として出場する市民の活躍を激励するため、全国大会等激励金交付要綱に基づき、激励金の交付を行っています。また、選手や指導者の功績をたたえ、励みになるよう全国大会等で優秀な成績を残した選手やスポーツの普及・発展に寄与した人の表彰をしています。
事務内容	激励金交付制度については、制度の周知を強化し、交付者の増加を図りました。 体育表彰制度については、体育協会加盟団体に照会して、優秀な成績を残した選手の把握に努めました。

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	3,266	2,972	3,667
事業費	2,006	1,712	2,407
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	2,006	1,712	2,407
人件費計	1,260	1,260	1,260
正規（人）	0.20	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	優秀選手等表彰 全国大会等出場者激励 金交付	優秀選手等表彰 全国大会等出場者激励 金交付	優秀選手等表彰 全国大会等出場者激励 金交付

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02566 スポーツ活動表彰・激励事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
優秀選手等表彰	件	50.00	100.00	100.00
		171.00	149.00	0.00
全国大会等出場激励金交付	件	200.00	150.00	150.00
		249.00	245.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が審査する制度です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	競技種目が増えています。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	障害のある人の大会も庁内で情報連携できました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	審査事務の改善をしています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	隣接市との情報交換をしています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	例年通り激励金の申請がありましたが、新型コロナウイルス感が染拡大し、全国大会や国際大会の中止や延期になりました。今年度1月～3月の大会に出場予定だった選手には大変残念なことでした。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

9頁
令和2年8月25日
19時20分22秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02567 ホームチームサポーター事業

所属長名 名倉 建志
担当者 小木曾 賢
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001	健康			
項目（施策）	002	2スポーツ			
施策の方針	002	「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興			
事務事業	003	ホームチームサポーター事業			
事業期間	平成27年度～				
実施方法	全部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生	健幸
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	スポーツに関心のある市民の方が
目的	地元の企業トップチームを応援することにより、より身近にスポーツに親しめるようになります。
手段	安城市をホームタウンとする全国レベルの企業チームを市民サポーターが応援することで、スポーツ活動のきっかけづくりや本市を全国へPRする機会の充実を図ります。また、技術指導会等を開催することで、ジュニア世代の競技力向上、技術向上につなげ次世代を担うトップアスリートの育成を図ります。
事務内容	平成28年5月に事業の立ち上げを宣言する「キックオフ式」を開催しました。市内企業3チームを市民に知ってもらうこと、観戦に来てもらうこと、応援してもらうことを目的に事業を実施しています。

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	8,040	6,610	8,040
事業費	3,000	1,570	3,000
国庫支出金	0	785	1,500
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,000	785	1,500
人件費計	5,040	5,040	5,040
正規（人）	0.80	0.80	0.80
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	ホームチームによるクリニック開催 応援バスツアー実施 日本リーグ開催	ホームチームによるクリニック開催 応援バスツアー実施 日本リーグ開催	ホームチームによるクリニック開催 応援バスツアー実施 日本リーグ開催 チーム動画配信 地区公民館啓発コーナー設置 応援グッズ作成

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02567 ホームチームサポーター事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
安城市をホームチームとする全国レベルの企業チーム	チーム数	3.00 3.00	3.00 3.00	3.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が開催しています。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	ホームゲームには多くの市民で会場が埋まりました。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	チーム応援を楽しんでもらうことができました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	企業と協働して事業展開できました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市との情報交換をしています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	コロナウイルス感染拡大防止により、大会やイベントが中止されています。また、活動の自粛や制限のある中で、実行できる取り組みをチームと模索しています。動画配信や地区公民館にチーム紹介コーナーの設置を予定しています。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

11頁
令和2年8月25日
19時20分22秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02568 シティマラソン・市民駅伝大会事業

所属長名 名倉 建志
担当者 小木曾 賢
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画			
5Kの分類	001	健康			
項目（施策）	002	2スポーツ			
施策の方針	002	「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興			
事務事業	002	シティマラソン・市民駅伝大会事業			
事業期間	昭和42年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目	
健幸事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生	
根拠法令等					
備考					

【事業分析】

対象	スポーツをしたいと考えている市民が
目的	ランニング・ジョギングに取り組むようになります。
手段	総合運動公園と市街地を走るシティマラソンと、デンパーク園内と周辺道路をたすきで繋いでいく市民デンパーク駅伝大会の開催を、実行委員会へ補助金を出し運営しています。
事務内容	安城シティマラソンは、安全面の配慮から参加制限を設けました。市民デンパーク駅伝大会では、安全面の配慮からコースの一部変更を行うとともに、タスキ引継ぎの円滑化のため、中継所の位置を変更しました。

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	13,174	13,267	15,252
事業費	8,134	8,227	10,212
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	8,134	8,227	10,212
人件費計	5,040	5,040	5,040
正規（人）	0.80	0.80	0.80
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	シティマラソン開催 (12/9) 市民駅伝大会開催 (2/10)	シティマラソン開催 (12/8) 市民駅伝大会開催 (2/9)	シティマラソン開催 (12/13予定) 市民駅伝大会開催 (2/14予定)

事務事業評価シート (2/2)

12頁
令和2年8月25日
19時20分22秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02568 シティマラソン・市民駅伝大会事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和2年度
シティマラソン大会参加者	人	3,000.00	3,000.00	3,000.00
		3,275.00	2,856.00	0.00
駅伝大会参加者	人	1,300.00	1,300.00	1,300.00
		1,645.00	1,611.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が開催する事業です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	様々な形で参加することで、家族やグループの絆が醸成されます。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	2
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	マラソンイベントが多くなり参加者が分散したと思われます。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	事務の効率化やコースの改善などに取り組みました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	隣接市との情報交換をしています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	シティマラソンの受付時期を2年連続で早めました。このことにより、〆切からの事務に時間ができ、その後の処理を確実に行うことができました。借用していた企業駐車場が借りれなくなり、代替え地の確保の検討が必要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

13頁
令和2年8月25日
19時20分22秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02569 競技スポーツ振興事業

所属長名 名倉 建志
担当者 藤田 雄大
電話番号 0566-75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	002	2スポーツ		
施策の方針	002	「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興		
事務事業	001	競技スポーツ振興事業		
事業期間	昭和47年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	ひとづくり	マニフェスト		地方創生
根拠法令等	安城市スポーツ振興補助金交付要綱			
備考	平成28年度の事務事業の見直しにより、平成29年度から以下の事業を統合しています。 ・スポーツ大会補助金管理事務 ・早朝野球大会事業 ・安城選手権大会事業 ・スポーツスクール（教室）開催事業 ・スポーツ観戦推進事業 ・スポーツ選手育成事業 ・スポーツ指導者育成事業 ・自主スポーツグループ育成事業			

【事業分析】

対象	競技スポーツに取り組む人、スポーツに関心のある市民の方が
目的	日ごろの成果やスポーツのきっかけとなる機会の充実を図ります。
手段	安城市競技ナンバー1を決める安城選手権大会の開催やスポーツを始めるきっかけづくりとして、スポーツスクール・教室の開催、西三河以上の持ち回り大会に対し運営経費の一部の補助を行っています。
事務内容	安城選手権大会、スポーツスクール・教室及び大会補助等について、NPO安城市体育協会に委託し、運営等を任せて実施しています。

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	29,840	29,542	32,535
事業費	28,580	28,282	31,275
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	3,362	2,276	2,450
一般財源	25,218	26,006	28,825
人件費計	1,260	1,260	1,260
正規（人）	0.20	0.20	0.20
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	安城選手権大会開催 スポーツスクール・教室開催 スポーツ観戦推進事業	安城選手権大会開催 （冬季中止） スポーツスクール・教室開催 （3期一部中止） スポーツ観戦推進事業 指導者講習会 補助金事業	安城選手権大会開催 スポーツスクール・教室開催 スポーツ観戦推進事業 指導者講習会 補助金事業

事務事業評価シート (2/2)

14頁
令和 2年 8月25日
19時20分22秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 02569 競技スポーツ振興事業

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
安城選手権大会参加者	人	4,000.00 4,248.00	4,000.00 3,649.00	4,000.00 0.00
スポーツスクール・教室参加者	人	2,100.00 2,443.00	2,100.00 2,566.00	2,000.00 0.00
補助金交付大会参加者	人	2,810.00 2,730.00	2,910.00 2,696.00	3,290.00 0.00
スポーツ観戦推進事業参加者	人	150.00 112.00	150.00 169.00	100.00 0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	安城市のスポーツの競技力を向上していくために必要な施策です。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	安城市のスポーツの競技力を向上していくために必要な施策です。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目的や目標に合った事業に参加しています。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	計画通りに実施できました。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	隣接市との情報交換をしています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	体育協会への委託事業として実施しています。年明けからの新型コロナウイルス感染拡大に伴い、スポーツスクールや教室、イベントや講習会などが中止となりました。今後行う事業実施の検討と、来年度の事業実施における開催のための基準の精査をしていくことが重要です。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

15頁
令和2年8月25日
19時20分22秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 03001 国際・全国大会推進活動事業

所属長名 名倉 建志
担当者 藤田 雄大
電話番号 75-3535

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	001	健康		
項目（施策）	002	2スポーツ		
施策の方針	002	「する」・「みる」・「おしえる」・「ささえる」スポーツの振興		
事務事業	009	国際・全国大会推進活動事業		
事業期間	平成30年度～令和4年度	5年間		
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	政策的	性質別費目
健幸事業	ひとづくり	マニフェスト	地方創生	
根拠法令等	国際・全国大会推進活動実行委員会会則			
備考	オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興を通じ、多くの方がスポーツに親しみ、関わり、健康で豊かな暮らすことができ、市民の元気な笑顔の輪が広がります。			

【事業分析】

対象	カナダ代表チーム世界大会事前合宿の実施や東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー開催することで、市民に「みるスポーツ」の機会を提供する
目的	オリンピック開催機運を市民とともに盛り上げ、みるスポーツやささえるスポーツの機会を多く実施したり体験することで、自らの健康づくりや社会とのつながりを持つことができるようになる
手段	国際大会や全国大会の開催などに協力したり、会場へ足を運び応援したりすること。
事務内容	カナダ代表チームの合宿 東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー開催 日本リーグ開催 全日本大学女子ソフトボール選手権大会開催準備

【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	17,059	20,355	50,447
事業費	5,089	8,385	38,477
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	5,089	8,385	38,477
人件費計	11,970	11,970	11,970
正規（人）	1.90	1.90	1.90
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】	カナダ代表チーム事前合宿の実施（8日間27人） 日本リーグ（ソフトボール・バスケットボール）の開催 フラッグツアー開催 全日本大学女子ソフトボール選手権大会開催 受け入れ準備	全日本大学女子ソフトボール選手権大会開催 日本リーグ開催 ソフトボール1回 バスケット1回 聖火リレー実施準備 カナダ代表チーム事前合宿準備・日程調整交渉ほか	全日本大学女子ソフトボール選手権大会開催 日本リーグ開催 ソフトボール2回 バスケット2回 聖火リレー実施準備 カナダ代表チーム事前合宿準備・日程調整交渉ほか

事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価
所属 0005756020 スポーツ課スポーツ振興係
事務事業 03001 国際・全国大会推進活動事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
全国大会等の観客数	人	5,000.00	9,000.00	500.00
		6,504.00	20,258.00	0.00

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	2
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	主催団体と協働するなどして事業の開催ができました。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	「みる」スポーツの振興をはかることができました。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	計画していた事業は実施できました。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	実績をもとに事務改善を進めます。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他市との情報交換をしています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、聖火リレー、オリンピック・パラリンピック、カナダ代表チームの合宿が、中止・延期になりました。今後の見通しもまだ立ちませんが、コロナの終息を願うばかりです。令和元年度に準備してきたことは来年度に必ず役に立つことと思います。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。